

科目名	社会科学講義実戦(政治・社会)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	藤田 理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	初級程度公務員一次試験に向けた社会科学の政治分野・社会分野の問題演習の実施。1年時に身につけた知識を、実戦形式で発揮できるようにする。過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					社会科学(政治・社会)の要点を理解し、公務員試験問題で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編 及び テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会分野:「労働事情」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	2	政治分野:「国会」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	3	政治分野:「内閣」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	4	政治分野:「裁判所」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	5	政治分野:「三権分立」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	6	政治分野:「国際政治」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	7	政治分野:「政治制度」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	8	政治分野:「基本的人権」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	9	政治分野:「民主主義」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	10	政治分野:「民主主義・日本国憲法」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	11	政治分野:「日本国憲法」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	12	政治分野:「地方自治」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	13	政治分野:「選挙制度」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	14	社会分野:「社会保障・情報化・環境問題」				授業前にテキスト編で1年時に学習した内容を復習しておくこと。	
	15	時事対策					
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し、出席状況と合わせ評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○					100%
履修上の注意	授業後の復習を必ず実施すること。						

科目名	社会科学講義実戦(経済)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	藤田 理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	初級程度公務員一次試験に向けた社会科学の経済分野の問題演習の実施。1年時に身につけた知識を、実戦形式で発揮できるようにする。過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					社会科学(経済)の要点を理解し、公務員試験過去問題で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編:絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編 ・配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	市場・価格				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	2	企業				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	3	景気・物価				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	4	金融 1				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	5	金融 2				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	6	金融 3				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	7	試験問題解説				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	8	財政 1				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	9	財政 2				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	10	財政 3				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	11	為替・貿易				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	12	国際経済				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	13	経済指標				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	14	日本経済史				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
15	経済学史				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
評価方法	4月～6月での小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		模擬試験正答率	○				100%
履修上の注意	授業後の復習を必ず実施すること。						

科目名	人文科学講義実戦(日本史)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	児玉 博基		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。過去問演習を重ねることが「人文科学(日本史)」の攻略のポイントであるとする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人文科学(日本史)の要点を理解し、公務員試験過去問題の解答で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	絶対合格シリーズ 人文科学問題集編(日本史)、前年度使用の絶対合格シリーズ人文科学テキスト(日本史)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	人文問題集 日本史 古代1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	2	人文問題集 日本史 古代2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	3	人文問題集 日本史 中世1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	4	人文問題集 日本史 中世2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	5	人文問題集 日本史 近世1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	6	人文問題集 日本史 近世2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	7	人文問題集 日本史 近代1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	8	人文問題集 日本史 近代2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	9	人文問題集 日本史 近代3				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	10	人文問題集 日本史 近代4				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	11	人文問題集 日本史 現代1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	12	人文問題集 日本史 現代2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	13	人文問題集 日本史 文化史				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
	14	人文問題集 日本史 横断問題1				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施	
15	人文問題集 日本史 横断問題2				履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
評価方法	4月～7月の模擬試験における人文科学(日本史)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義実戦(世界史)						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間/45時間	担当者	松隈 達也		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	<p>【趣旨】公務員試験の一次試験(筆記試験)に合格するために人文科学(世界史)を学ぶ。 【内容】おもに世界史の近世、近代、現代史、中国史を学ぶ。過去問演習を通して世界史の要点を習得できるようにする。</p>						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				初級程度公務員試験過去問で正答することができる。	
	○	○				人文科学(世界史)の過去問について説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編』(麻生キャリアサポート、2019年) 『絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編』(麻生キャリアサポート、2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	『絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編』p. 148-150. 中国近現代史				予習)『原点』の世界史no. 347-356. 復習)授業の復習とやり直し	
	2	『同 問題集編』p. 128-131. 第二次世界大戦後・冷戦				予習)『原点』の世界史no. 249-254. 復習)授業の復習とやり直し	
	3	『同 問題集編』p. 151-153. 中国近現代史				予習)『原点』の世界史no. 357-367. 復習)授業の復習とやり直し	
	4	『同 問題集編』p. 132-135. 第二次世界大戦後・冷戦				予習)『原点』の世界史no. 255-271. 復習)授業の復習とやり直し	
	5	『同 問題集編』p. 136-140. 中国史				予習)『原点』の世界史no. 272-295. 復習)授業の復習とやり直し	
	6	『同 問題集編』p. 122-124. 二つの世界大戦				予習)『原点』の世界史no. 228-238. 復習)授業の復習とやり直し	
	7	『同 問題集編』p. 141-144. 中国史				予習)『原点』の世界史no. 296-320. 復習)授業の復習とやり直し	
	8	『同 問題集編』p. 125-127. 二つの世界大戦				予習)『原点』の世界史no. 239-248. 復習)授業の復習とやり直し	
	9	『同 問題集編』p. 145-147. 中国史				予習)『原点』の世界史no. 321-346. 復習)授業の復習とやり直し	
	10	『同 問題集編』p. 112-116. 産業革命と帝国主義				予習)『原点』の世界史no. 176-204. 復習)授業の復習とやり直し	
	11	『同 問題集編』p. 117-121. 産業革命と帝国主義				予習)『原点』の世界史no. 205-227. 復習)授業の復習とやり直し	
	12	『同 問題集編』p. 104-107. 市民革命				予習)『原点』の世界史no. 131-155. 復習)授業の復習とやり直し	
	13	『同 問題集編』p. 108-111. 市民革命				予習)『原点』の世界史no. 156-175. 復習)授業の復習とやり直し	
	14	『同 問題集編』p. 96-99. 宗教改革と近世ヨーロッパ				予習)『原点』の世界史no. 76-105. 復習)授業の復習とやり直し	
	15	『同 問題集編』p. 100-102. 宗教改革と近世ヨーロッパ				予習)『原点』の世界史no. 106-130. 復習)授業の復習とやり直し	
評価方法	4月～7月の模擬試験における人文科学(世界史)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意	授業中はメモを取ること。授業の復習を必ず行うこと。 他者の受講を妨げる迷惑行為(私語、スマホの使用、居眠りなど)が著しい場合は単位認定の対象外とする。						

科目名	人文科学講義実戦(地理)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	柴田 健吾		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	【趣旨】公務員試験の一次試験(筆記試験)で「人文科学(地理)」での得点率を上げることができる。 【内容】地理分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				人文科学(地理)分野の要点を説明することができる。	
	○	○				初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編(地理)』(麻生キャリアサポート、2019年) 『絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編(地理)』(麻生キャリアサポート、2019年) 『新詳高等地図』(帝国書院編集部、2018年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	気候・土壌・風①				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	2	気候・土壌・風②				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	3	地形①				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	4	地形②				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	5	地図				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	6	時差				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	7	植生・農業①				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	8	植生・農業②				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	9	産業・貿易・発電				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	10	日本				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	11	アジア・アフリカ				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	12	アジア・アフリカ				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	13	ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	14	ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
	15	人口・海流漁業・環境・地名・民族				毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。	
評価方法	4月～7月の模擬試験における人文科学(地理)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。 個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意	毎回持参するもの → 絶対合格シリーズ 人文科学問題集編(地理)、前年度使用の絶対合格シリーズ人文科学テキスト(地理)、帝国書院 地図帳						

科目名	自然科学講義実戦(化学・生物)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(化学・生物)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。化学・生物分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自然科学(化学・生物)の要点を理解し、公務員試験問題で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編 ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	化学1 ①物質の構造					
	2	化学2 ②モル・化学反応式					
	3	化学3 ③酸と塩基					
	4	化学4 ④酸化・還元					
	5	化学5 ⑤周期表					
	6	化学6 ⑥気体 ⑦気体の性質					
	7	化学7 ⑧金属の性質					
	8	生物1 ①生体のつくり ②細胞分裂・生殖					
	9	生物2 ③遺伝					
	10	生物3 ④酵素 ⑤異化(呼吸・発酵)					
	11	生物4 ⑦刺激と反応					
	12	生物5 ⑧恒常性と調節(1)					
	13	生物6 ⑨恒常性と調節(2)					
	14	生物7 ⑥同化(光合成・窒素同化) ⑪生態系・進化					
	15	生物8 ⑩植物の反応・動物の行動					
評価方法	4月～7月の模擬試験における自然科学(化学・生物)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義実戦(地学・物理)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	中泉 満智栄		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(地学・物理)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。地学・物理分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自然科学(地学・物理)の要点を理解し、公務員試験問題で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編 ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地学1 ①地球の内部 ⑩地球の歴史					
	2	地学2 ②地震 ③岩石・火山					
	3	地学3 ④大気の構成					
	4	地学4 ⑤天気					
	5	地学5 ⑥地球の運動 ⑦太陽・月					
	6	地学6 ⑧太陽系の天体					
	7	地学7 ⑨恒星と宇宙					
	8	物理 力					
	9	物理 滑車・てんびん					
	10	物理 物体の運動					
	11	物理 力学的エネルギー・熱量					
	12	物理 電気					
	13	物理 波動①					
	14	物理 波動②					
	15	復習					
評価方法	4月～7月の模擬試験における自然科学(化学・生物)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義実戦(数学・資料解釈)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	長友 裕幸		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)における「自然科学(数学・資料解釈)」の得点率を上げることを学習目標に講義を行う。要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				数学・資料解釈の要点を理解し、公務員試験過去問題で正答率80%の解答ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編 ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	数 学 1	さまざまな計算				
	2	資料解釈 1	実数と構成比①				
	3	数 学 2	2次方程式と2次不等式				
	4	資料解釈 2	実数と構成比②				
	5	数 学 3	2次関数①				
	6	資料解釈 3	実数と構成比③				
	7	数 学 4	2次関数②				
	8	資料解釈 4	実数と構成比④				
	9	数 学 5	三角比				
	10	資料解釈 5	指数と構成比①				
	11	数 学 6	その他の分野				
	12	資料解釈 6	指数と構成比②				
	13	数 学 7	総合演習				
	14	資料解釈 7	増減率①				
15	資料解釈 8	増減率②					
評価方法	4月～7月の模擬試験における数学、資料解釈の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義実戦(和文)						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間/30時間	担当者	佐藤 美聡		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	文章読解を通して、幅広い教養を身に付ける。また、国語分野の学習を通じて豊かな表現力を養う。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(文章読解)について、正解に達することができる。	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(国語分野)について、正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ③文章理解・国語・文学・芸術 [第2版]』 (東京アカデミー、七賢出版株式会社、2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	2	問題演習(要旨・空欄補充・その他)、国語確認テスト					
	3	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	4	作文①					
	5	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	6	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	7	問題演習(要旨・空欄補充・その他)、国語確認テスト					
	8	作文②					
	9	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	10	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	11	問題演習(要旨・空欄補充・その他)、国語確認テスト					
	12	問題演習(内容合致・文書整序)、国語確認テスト					
	13	総まとめ 問題演習5題、国語テスト					
	14	総まとめ 問題演習5題、国語テスト					
15	総まとめ 問題演習5題、国語テスト						
評価方法	4月～7月の模擬試験における教科正答率を換算し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義実戦(英語)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	15時間/30時間	担当者	中尾 亜希子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「文章理解(英語)+英語(文法)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。英語分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に解法の伝授、イディオム・構文などの知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		文章理解(英文)、英文法において、正解を導くための解法・知識を身につけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	『公務員試験 過去問徹底分析 “絶対”合格シリーズ 文章理解 テキスト編』 (株式会社 麻生キャリアサポート(編著・発行) 2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	2	海上保安学校(特別)英文法過去問演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	3	海上保安学校(特別)英文法過去問演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	4	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	5	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	6	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	7	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	8	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	9	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	10	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	11	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	12	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	13	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	14	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
	15	文章理解(英文)英文2題演習(20分)・解説(30分)				【事後】授業内で出てきたイディオムを覚える	
評価方法	4月～7月の模擬試験における教科正答率を換算し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験(教科ごとの正答率)	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義実戦						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	山本 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「判断推理/課題処理」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。判断推理/課題処理の要点を踏まえ、過去問演習を中心小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				判断推理問題を1問5分以内に正確に解くことできる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	図形分野 単元別演習 「折り紙」、「道順・位相」					
	2	論理分野 単元別演習 「対応関係」					
	3	図形分野 単元別演習 「展開図(1)」、「展開図(2)サイコロ」					
	4	論理分野 単元別演習 「順序関係」					
	5	図形分野 単元別演習 「平面図形(1)」、「平面図形(2)」					
	6	論理分野 単元別演習 「位置・方位」					
	7	図形分野 単元別演習 「軌跡」、「空間図形の分割」					
	8	論理分野 単元別演習 「論理」					
	9	図形分野 単元別演習 「多面体・切断・回転」、「空間図形の投影」					
	10	論理分野 単元別演習 「試合・勝敗」					
	11	図形分野 総合演習 「第1回」、「第2回」					
	12	論理分野 単元別演習 「うそつき」					
	13	図形分野 総合演習 「第3回」、「第4回」					
	14	論理分野 単元別演習 「集合人数」					
15	図形分野 総合演習 「第5回」						
評価方法	4月～7月の模擬試験における判断推理の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。 個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	梶村 勝治		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験一次試験(筆記試験)の「数的推理」で、60%以上の得点率をとることができるよう数的推理の要点を踏まえ過去問演習中心に学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				数的推理問題の解答を1問について3分以内に早く正確に行うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理 問題集編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	場合の数(数え上げと順列)			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	2	場合の数(順列と組合わせ)			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	3	確率(順列と組合わせ)			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	4	確率(排反・独立)			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	5	確率(反復試行・条件付確率・期待値)			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	6	旅人算			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	7	通過算			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	8	流水算			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	9	その他の速さ			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	10	仕事算・ニュートン算			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	11	濃度			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	12	比と割合			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	13	約数・倍数			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	14	整数			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
	15	数列・規則			履修内容のテキストまたは、過去問のいずれかを確認プリントとして実施		
評価方法	4月～7月の模擬試験における数的推理の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	適性一般知識演習実戦																													
科目名(英)																														
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	梶村 勝治/坂田 健吾/松岡 達也/佐藤 英聡 /甲斐 友康/長友 裕幸/藤田 理																									
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実施継続																										
対象学科・学年	公務員総合科2年																													
授業概要	事務適性試験演習を通し、事務処理能力を身に付ける。 また、事前に指定された範囲の暗記確認テストを受けることで、知識科目の定着状況を確認する。																													
授業形式	講義:	演習: <input type="radio"/>	実習: <input type="radio"/>	実技: <input type="radio"/>	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="radio"/>																									
学習目標 (到達目標)	<table border="1"> <tr> <td>知識</td> <td>理解</td> <td>応用</td> <td>評価</td> <td>目標</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>演習試験で自己の授業理解度の確認を行い、以後同分野問題の解答ができる。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> </tr> </table>					知識	理解	応用	評価	目標	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	演習試験で自己の授業理解度の確認を行い、以後同分野問題の解答ができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
知識	理解	応用	評価	目標																										
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。																										
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	演習試験で自己の授業理解度の確認を行い、以後同分野問題の解答ができる。																										
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																											
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																											
テキスト・教材 参考図書	・実務教育出版 適性試験(全100回) ウィネット適性検査演習問題(全80回) オリジナル教材(一問一答集)																													
授業計画	授業項目・内容		授業外学修指示																											
	1	事務適性試験-一般知識演習1																												
	2	事務適性試験-一般知識演習2																												
	3	事務適性試験-一般知識演習3																												
	4	事務適性試験-一般知識演習4																												
	5	事務適性試験-一般知識演習5																												
	6	事務適性試験-一般知識演習6																												
	7	事務適性試験-一般知識演習7																												
	8	事務適性試験-一般知識演習8																												
	9	事務適性試験-一般知識演習9																												
	10	事務適性試験-一般知識演習10																												
	11	事務適性試験-一般知識演習11																												
	12	事務適性試験-一般知識演習12																												
	13	事務適性試験-一般知識演習13																												
	14	事務適性試験-一般知識演習14																												
	15	事務適性試験-一般知識演習15																												
	16	事務適性試験-一般知識演習16																												
	17	事務適性試験-一般知識演習17																												
	18	事務適性試験-一般知識演習18																												
	19	事務適性試験-一般知識演習19																												
	20	事務適性試験-一般知識演習20																												
	21	事務適性試験-一般知識演習21																												
	22	事務適性試験-一般知識演習22																												
	23	事務適性試験-一般知識演習23																												
	24	事務適性試験-一般知識演習24																												
	25	事務適性試験-一般知識演習25																												
	26	事務適性試験-一般知識演習26																												
	27	事務適性試験-一般知識演習27																												
	28	事務適性試験-一般知識演習28																												
	29	事務適性試験-一般知識演習29																												
	30	事務適性試験-一般知識演習30																												
	31	事務適性試験-一般知識演習31																												
	32	事務適性試験-一般知識演習32																												
	33	事務適性試験-一般知識演習33																												
	34	事務適性試験-一般知識演習34																												
	35	事務適性試験-一般知識演習35																												
	36	事務適性試験-一般知識演習36																												
	37	事務適性試験-一般知識演習37																												
	38	事務適性試験-一般知識演習38																												
	39	事務適性試験-一般知識演習39																												
	40	事務適性試験-一般知識演習40																												
	41	事務適性試験-一般知識演習41																												
	42	事務適性試験-一般知識演習42																												
	43	事務適性試験-一般知識演習43																												
	44	事務適性試験-一般知識演習44																												
	45	事務適性試験-一般知識演習45																												
	46	事務適性試験-一般知識演習46																												
	47	事務適性試験-一般知識演習47																												
	48	事務適性試験-一般知識演習48																												
	49	事務適性試験-一般知識演習49																												
	50	事務適性試験-一般知識演習50																												
	51	事務適性試験-一般知識演習51																												
	52	事務適性試験-一般知識演習52																												
	53	事務適性試験-一般知識演習53																												
	54	事務適性試験-一般知識演習54																												
	55	事務適性試験-一般知識演習55																												
	56	事務適性試験-一般知識演習56																												
	57	事務適性試験-一般知識演習57																												
	58	事務適性試験-一般知識演習58																												
	59	事務適性試験-一般知識演習59																												
	60	事務適性試験-一般知識演習60																												
	61	事務適性試験-一般知識演習61																												
	62	事務適性試験-一般知識演習62																												
	63	事務適性試験-一般知識演習63																												
	64	事務適性試験-一般知識演習64																												
	65	事務適性試験-一般知識演習65																												
	66	事務適性試験-一般知識演習66																												
	67	事務適性試験-一般知識演習67																												
	68	事務適性試験-一般知識演習68																												
	69	事務適性試験-一般知識演習69																												
	70	事務適性試験-一般知識演習70																												
	71	事務適性試験-一般知識演習71																												
	72	事務適性試験-一般知識演習72																												
	73	事務適性試験-一般知識演習73																												
	74	事務適性試験-一般知識演習74																												
75	事務適性試験-一般知識演習75																													
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を点数換算し総合評価。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。																													
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合																							
	適性演習試験	◎	◎				80%																							
演習試験	○	○				20%																								
履修上の注意																														

科目名	GCB II					
科目名(英)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	梶村 勝治/柴田 健吾/松隈 達也/佐藤 美聡 /甲斐 友康/長友 裕幸/藤田 理	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	公務員として、地域・国家の発展に貢献する人材となるため、志を立て、将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現する。そこで本授業では、成功者の考え方や力のある端的なメッセージに触れ、世界を取り巻く情報を知り、自らのあり方を考え、思いを言語化していく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
				○		考えることの大切さを知り、自らの考えを言葉で伝えられる。
				○		目標の大切さ、志の大切さを知り、自らの行動方針を立てることができる。
テキスト・教材 参考図書	・GCB II テキスト					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	第1講座 グローバル・シティズンと志(1)				
	2	第1講座 グローバル・シティズンと志(2)				
	3	第3講座 自己を知る(1)				
	4	第3講座 自己を知る(2)				
	5	第2講座 なぜ志を立てることが大切なのか				
	6	第4講座 伝える力を学ぶ(1)				
	7	第4講座 伝える力を学ぶ(2)				
	8	第5講座 伝える力を学ぶ(3)				
	9	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(1)				
	10	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(2)				
	11	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(1)				
	12	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(2)				
	13	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(1)				
	14	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(2)				
15	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(3)					
評価方法	全6回のレポート提出及び、第8講座におけるスピーチを実施できた場合、R評価(合格)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	発表				○	40%
	レポート課題				◎	60%
履修上の注意	授業時は必ずGCB II テキストを持参すること。					

科目名	公務員リテラシー実戦					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	52時間	担当者	梶村 勝治/柴田 健吾/松隈 達也/佐藤 美聡 /甲斐 友康/長友 裕幸/藤田 理	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	職種紹介や受験ガイダンスを通して、受験についての幅広い知識を身に付ける。 また、一次試験対策・二次試験対策を受通じて、合格できる力を養う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標	
	○				公務員の各種職・特徴を理解し、志望先を適切に選択することができる。	
	○				面接試験に向けて、自身の言葉で考えや思いを示すことができる。	
	○				一次試験に向けて、演習課題を集中して解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない 授業中に配布するプリントを使用する					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	職種別① 政策				
	2	受験説明① SPI、SCOA				
	3	職種別② 集団討論				
	4	職種別③ 過去問演習				
	5	受験説明② グループワーク				
	6	職種別④ 体力、SPI対策				
	7	受験説明③ 5月試験説明				
	8	面接① 集団面接				
	9	受験説明④ 国立大学法人				
	10	面接② 集団面接				
	11	面接③ 集団面接				
	12	面接④ 集団面接				
	13	受験説明⑤ 一般職・税務				
	14	演習① 教養演習				
	15	演習② 教養演習				
	16	演習③ 教養演習				
	17	演習④ 教養演習				
	18	演習⑤ 教養演習				
	19	演習⑥ 教養演習				
	20	受験説明⑥ 都庁・特別区				
	21	受験説明⑦ 東消・警視庁				
	22	職種別⑤ 過去問演習				
	23	職種別⑥ 体力、SPI対策				
	24	受験説明⑧ 受験戦略				
	25	受験説明⑨ 受験戦略				
	26	受験説明⑩ 受験戦略				
	27	職種別⑦ 過去問演習				
	28	職種別⑧ 政策				
	29	職種別⑨ 集団討論				
	30	職種別⑩ 過去問演習				
		※ (31～52) 教養演習・解説				
評価方法	レポート・アンケートの提出をもって単位を認定する(R評価)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート課題・アンケート	○			○	
履修上の注意						

科目名	総合演習実戦						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	梶村 勝治/柴田 健吾/松隈 達也/佐藤 美聡 /甲斐 友康/長友 裕幸/藤田 理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	初級公務員採用本試験形式の模擬試験を解く。 実践形式で時間内で全科目の演習を行い、知識及び解法の総復習と確認をする。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				初級公務員採用本試験形式の模擬試験で総得点中6割以上を得点できる。	
	○	○				制限時間内で、すべての科目を解き見直しまで出来るようになる。	
テキスト・教材 参考図書	・ウィネット公務員模試 ・模擬試験(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1. 初級公務員採用試験模擬試験 ウィネット 13回					
	2	2. 地域統一模擬試験 1回					
	3	3. 本試験問題(過去問) 1回					
	4	※全15回を1回あたり3時間を使用し実施する。					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	4～7月の模試採点結果(総合得点)平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	総合演習解説講義実戦						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	梶村 勝治/柴田 健吾/松隈 達也/佐藤 美聡 /甲斐 友康/長友 裕幸/藤田 理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	総合演習実戦において行った問題演習について、重点項目の振り返りを目的とした講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				問題演習の出題につき性質、解法を理解し、同種問題での6割以上の正答ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・ウィネット公務員模試 ・模擬試験(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	解説1 ウィネット 13回					
	2	解説2 地域統一模擬 1回					
	3	解説3 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官型 1回					
	4	※全15回を1回あたり2時間を使用し実施する。					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	8、9月期に講義内容に基づいた確認テストを行い、得点率で評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	教養演習実戦						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	梶村勝治/柴田健吾/松隈達也 佐藤美聡/甲斐友康/長友裕幸/藤田理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	各回、初級公務員採用本試験問題の過去問と模擬試験の全科目の演習を2時間で行う。 教養科目の中で、知能(数的・判断)と知識(人文)を得点源にできるよう理解度を深める。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				本試験形式演習での解答において、各回の演習で正答率6割以上で解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	ウィネット 本試験問題(過去問)プリント ・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理/判断推理/人文科学 問題集編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 初級公務員採用試験本試験問題・模擬試験 全30回(1回あたり2時間) 実施					
		(1) 初級公務員採用試験模擬試験 ウィネット 13回					
		(2) 地域統一模擬試験 2回					
		(3) 本試験問題(過去問) 15回					
		2. 解説 全30回(1回あたり1時間):重要問題を選定し解説。 問題集を使用し応用問題も解けるよう講義を行う					
		(1) 知能:数的・判断の解説 全15回 1時間で実施					
		(2) 知識:人文の解説 全15回 1時間で実施					
評価方法	模試採点結果(総合得点)平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	模擬試験演習実践					
科目名(英)						
単位数	13単位	時間数	200時間	担当者	梶村勝治/柴田健吾/松隈達也 佐藤美聡/甲斐友康/長友裕幸/藤田理	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 2年					
授業概要	各受験先の模擬試験を受験し、出題形式に慣れる。また、履修内容の復習を行う。 また、面接試験など二次試験に向けた知識を習得する。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○			目標 本試験における標準レベルの問題について、60%の得点率に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	本試験過去問題					
授業計画	授業項目・内容			授業外学修指示		
	8月3日～9月25日までの期間で実施する全35回模擬試験演習を 下記の内容で実施する。					
	1. 国家一般職・税務 6回					
	2. 裁判所職員 2回					
	3. 東京都 2回					
	4. 東京特別区 4回					
	5. 東京消防庁 2回					
	6. 刑務官 6回					
	7. 海保入警皇宮 7回					
	8. 警視庁 2回					
	9. 地域統一模試 3回					
	10. 大阪府 1回					
	計 35回					
	※1回あたりの演習を4時間で実施する。					
	9月28日～10月16日の期間は下記の2グループに分けて実施する。					
	1. 面接対策グループ					
	(1) 面接試験対策 ①面接必要書類作成					
②自己分析						
③面接対応演習:個別面接						
④面接対応演習:集団面接						
⑤集団討論演習						
⑥グループワーク演習						
2. 筆記試験対策グループ						
(2) 筆記試験対策 ①地方公務員試験型 I						
②地方公務員試験型 II						
③地方公務員試験型 III						
④地方公務員試験型 IV						
⑤地方公務員試験型 V						
※試験形式に応じた問題演習を実施						
評価方法	8月3日～9月25日までの期間で実施する模擬試験の平均得点率により評価する。 ※時事問題など本年度本試験対応に適切でない問題については計算の基礎から除外する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	模擬試験 総合得点平均	○	○			
履修上の注意						

科目名	模試解説講義実戦						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	72時間	担当者	梶村 勝治/甲斐 友康/佐藤 美聡/中泉満智栄 柴田 健吾/松隈 達也/長友 裕幸/藤田 理 桑原賢/山本剛/船木竜太/横山真太郎/賀来美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	模擬試験問題についての解説を受けることで、重要問題と誤解答が多かった問題について理解を深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				模試試験において、各回とも60%の得点率が取れるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	本試験過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		8月3日～9月25日に実施する下記模試演習の解説を実施する。					
		1. 国家一般職・税務 6回					
		2. 裁判所職員 2回					
		3. 東京都 2回					
		4. 東京特別区 4回					
		5. 東京消防庁 2回					
		6. 刑務官 6回					
		7. 海保入警皇宮 7回					
		8. 警視庁 2回					
		9. 地域統一模試 3回					
		10. 大阪府 1回					
		11. その他 1回					
		計 36回					
	1回あたりの解説を2時間で実施する。						
評価方法	上記試験における模擬試験の平均得点率にて点数換算をし、評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				
履修上の注意							

科目名	教養集中講義						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	梶村勝治/柴田健吾/松隈達也 佐藤美聡/甲斐友康/長友裕幸/藤田理		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 2年						
授業概要	各受験先の過去問試験を受け、出題形式に慣れる。また、履修内容の復習を行う。 面接試験など二次試験に向けた知識を習得する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				本試験における標準レベルの問題について、60%の得点率に達することができる。	
	○	○				公務員試験概要を知り、受験先を選定することができる。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		(1～5) 2013年裁判所 過去問演習と解説 (5時間)					
		(6～10) 2008年国家一般職税務 過去問演習と解説(5時間)					
		(11～15) 2007年国家一般職税務 過去問演習と解説(5時間)					
		(16～18) 公務員試験概要説明 (3時間)					
		(19～22) 勉強イベント・暗記テスト (4時間)					
		(22～23) 作文 (1時間)					
		(24～30) 教科別対策授業 (6時間)					
評価方法	単位取得のための出席要件を満たし、レポートにおける合否判定で合格した場合、R評価(合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト・レポート	◎	◎				100%
履修上の注意							